

2020年度総会の報告

三嶋秀恒（松戸市）

開催日：2020年2月11日（火・祝）

場 所：千葉市生涯学習センター 大研修室、総会出席者：68名、委任状数93名

特別講演（司会・講師紹介：佐野 由輝） 13：10～14：40

「びっくり 身近な植物たちの知恵と工夫」 講師：理学博士 多田 多恵子 氏

総会（司会・進行：木下 順次） 14：50～16：00

議長：高木純一（習志野市）、書記：谷 優（成田市）

議題：2018 年度事業実績・会計報告・監査報告、2019 年度事業計画・予算（案）

懇親会：千葉公園内カフェ ハーモニー 16：20～18：30

担当：盛一 昭代・三嶋 秀恒 参加者数：32 名

総会：晝間代表からの挨拶の後、高木純一さんが議長、谷 優さん（成田市）が書記に選出され、議事進行しました。行事報告は晝間代表から詳細な発表があり、会計報告は伊藤さん、会計監査報告は藤田さんからの報告があり、承認されました。

昭和の森観察会・東葛しぜん観察会・大草谷津田いきものの里自然観察会・研修会・SSN・受託事業等々の行事予定及び予算（案）の提案で、夫々の担当役員から熱のこもった説明があり、承認されました。

特別講演：テーマ「びっくり 身近な植物たちの知恵と工夫」

多田さんには 2 年前に葛西臨海公園で「都会で見られる海浜植物と鳥」のテーマで研修会の講師をしていただき、著書には「したたかな植物たち あの手この手の㊦大作戦」「美しき小さな雑草の花図鑑」「ようこそ！ 花のレストラン」など多数ある。

植物はじっとして動かない、動けないからこそ生きのびるためのテクニックを磨き、動物とは全く違う戦略をとり、技を磨いてきた。身近な植物のアツと驚く私生活と巧みな戦略をもち、植物のしたたかな生き方からは、人生哲学や経済法則も見えてくる。

講師から葉っぱが配られ ササ葉の末端から茎側に触るとザラザラで 拡大するとギザギザが付いている。（2,000 円くらいで高倍率のミニ拡大鏡が web で購入でき スマホのカメラ機能でも 100 円ショップの拡大レンズを利用できる）、ミカンの葉を光にかざすと満天の星が見えこれは香りの貯蔵庫で 葉を千切ると匂いがする。ローズマリーには香りのビーズ（匂いの玉）、ミニトマトには 7 種類もの毛がある。花粉は受粉のために虫などに運んでもらうが、蜜は低コスト・高カロリーのご馳走で うまく花粉を運ばせるかは花たちの経営戦略。上向きの浅いへりポート形の花は ファミリーレストラン ハナアブやハエが集まり、ホタルブクロウ・ツリフネソウ・トリカブトのように奥の方に蜜を隠す専門レストランがある。ハチは紫～紅、アブは黄か白、チョウは赤に強く反応。蛾や甲虫やハチを呼ぶなら甘い香りも有効。

植物は種子を旅に出す、風を利用するもの：タンポポやガマは綿毛のパラシュート、カエデはヘリコプターを飛ばし、ケヤキの実は枝ごとひらひら風に舞い旅に出る。赤い花のツバキは鳥好みでヒヨドリやメジロが花粉を顔にたくさん付けて蜜を食す。貯食散布もある。

懇親会：千葉公園のカフェ ハーモニーに移り、盛一さんの司会進行、盛りだくさんのメニューで美味しい料理とたっぷりの飲み物で歓談して親睦を深めました。市川さんは 94 才で SSN の立上げの話、浅間先生から新刊「虫や鳥が見ている世界」の話など… 最後に四街道グループが代表して 三本メ、寒かったけれど楽しい雰囲気交流しました。

特別講演会と懇親会の写真は自然観察ちば HP をご覧ください。

